



表紙、目次、投稿要領、奥付、Contents

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-03-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/14365

大阪府立大学看護学部紀要

第21巻 第1号

2015年

原著

- 臨床における教育指導者の学習環境デザインに関する学習ニーズとその学習方法の検討 1
 土肥美子・細田泰子・中橋苗代・中岡亜希子・池内香織
- 看護学生のクリティカルシンキングが看護実践力へ及ぼす影響 13
 鈴木亜衣美・細田泰子・片山由加里

研究報告

- 冠状動脈バイパス術（CABG）を受ける患者に必要な情報および情報提供のための
 看護介入に対する経験年数による看護師の認識の差異に関する研究 21
 井上奈々・松本智晴・石田宜子・高見沢恵美子・玉井照美・道端由美子
 竹下エミ子・大名美記子・杉野由起子・稲垣美紀・石澤美保子
- ナノミストを用いた足浴が気分と唾液アミラーゼ活性へ与える影響：
 温湯を用いた足浴との比較 31
 山口舞子・杉本吉恵・中岡亜希子・金田典子・林愛実・増山栄利・岩崎幸恵・隅田千絵

資料

- 財務知識を習得した看護管理者の経営参画の実際 41
 溝口幸枝・青山ヒフミ
- 若年母親グループにおける住民ボランティアの子育て支援
 —ボランティアが持つ若年母親への認識の変化に着目して 49
 大川聡子
- 環境療法的アプローチによる入院中の被虐待児へのケアモデル
 —デルファイ法によるケア項目の検討— 57
 榎木野裕美・岡崎裕子・内田貴之・小針直子・羽畑正孝
- 女性患者における糖尿病の開示・非開示の意思決定に関する研究：
 糖尿病の開示と内的個人的要因との関連 65
 南村二美代
- 大学と地域による協働活動
 —大学と小学校によるコラボレーション授業の評価— 75
 根来佐由美・上野昌江・北川末幾子・大川聡子・和泉京子

大阪府立大学看護学部紀要投稿要領

1. 紀要について

- 1) 本学部の紀要の名称を「大阪府立大学看護学部紀要」(Journal of School of Nursing Osaka Prefecture University) とする。
- 2) 紀要は年1回発行する。
- 3) 紀要は学内に配するのみならず、他大学・研究機関等に寄贈する。
- 4) 紀要の編集は、紀要委員会が行う。

2. 投稿資格

原稿の第一著者は本学部の教員・非常勤講師、大学院生および大学院修了者(看護学研究科)で紀要委員会が認めたものとする。

3. 原稿の種類

- 1) 原稿の種類は、論壇、総説、原著、研究報告、その他である。それぞれの内容は下記のとおりである。

【論壇】 看護学に関連する問題や話題について、今後の方向性を指し示すような論述や提言

【総説】 看護学に関連する特定のテーマについて、多面的に知見ならびに文献を検討し、総合的に概説したもの

【原著】 看護学に関連した研究論文のうち、独創的で、新たな知見が論理的に示されているもの

【研究報告】 看護学に関連した研究論文のうち、内容において原著論文に及ばないが、研究の意義があるもの

【その他】 看護学に関連した資料、解説、実践記録、研究ノート等で、紀要委員会が適切と認めたもの

- 2) 投稿論文の内容は、他の出版物に掲載あるいは投稿されていないものに限る。
- 3) 投稿原稿の1編は本文、文献、図表を含めて以下の制限内にとどめることを原則とする。

論壇	4,000字以内
総説	12,000字以内
原著	16,000字以内
研究報告	16,000字以内
その他	12,000字以内

4. 倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、倫理的に配慮され、その旨が本文中に明記されなくてはならない。原則として倫理委員会の審査を受けること。

5. 投稿手続き

- 1) 印字した原稿3部(うち2部は査読のため名前・所属・謝辞を削除する)を紀要委員会に提出する。採用決定後の最終原稿には電子記録媒体をあわせて提出する。
- 2) 原稿等を提出する際には封筒に入れ、表に原稿表紙の複写を添付する。
- 3) 原稿執筆の要領は、別に定める。

6. 原稿の受付および採否

- 1) 原稿の受付日は、5.の投稿手続きを経た原稿が紀要委員会に提出された日とする。
- 2) 査読者(原則として2名以上)の意見をもとに、修正を求められた原稿の著者は、内容を修正の上で、紀要委員会によって定められた期日までに再投稿する。
- 3) 原稿の種類および掲載の可否についての決定は紀要委員会において行う。
- 4) 著者校正は2回行う。校正時の加筆は原則として認めない。

7. 原稿執筆の要領

- 1) 原稿は原則としてワープロソフトで作成し、A4判用紙1枚あたり、35文字×28行の横書きとする。
- 2) 原稿には表紙を付し、表題、著者名、所属先、図表の数、希望する原稿の種類を記載する。表題、著者名は英文も併記する。著者名の右肩に1), 2)と番号を付け、所属先を記載する。
- 3) 原稿の2枚目に抄録とキーワードを記載する。原著・研究報告の抄録は、和文は400字、英文は300語以内で本文の論旨がわかるよう記述する。抄録に続いて、論文の内容を的確に表現しうるキーワード(単語または語句)を日本語と英語で3~6個記載する。
- 4) 英文の表題および抄録はネイティブのチェックを受ける。

5) 図, 表などは, 1つずつA4用紙に配置し, 図1, 表1 (英文の場合は, Table 1, Figure 1) などの通し番号をつけ, 本文とは別に巻末に一括する。また, 原稿右欄外にそれぞれ挿入希望位置を朱書きで指定する。

6) 文献の記載方法は下記に従う

①本文中の文献表示方法

引用文献は, 引用箇所 to 著者名と発行年次 (西暦) を括弧表示する。

著者が複数の場合は, 著者名は1名のみとし, 「ら」または「他」をつけて略する。同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合は, 発行年次の後に小文字のアルファベット a, b, c... を付して区別する。

例: (小川ら, 2005), (Ogawa M, et al., 2004), (鈴木, 2003a), (鈴木, 2003b)

②文献欄の記載方法

文献欄は, 筆頭著者の姓のアルファベット順に記載する。共著者は3名まで記載し, それ以上の場合には「ら」または「他」をつけて省略する。

同一著者の文献が複数ある場合には, 発行年次の早い順に記載する。

同一年次に同一著者による文献が複数ある場合には, 本文中の表示に添付した小文字のアルファベット順に並べる。

文献の記載方法

[雑誌の場合]

著書名 (発行年次): 表題名, 掲載雑誌名 (List of journals indexed medicus, 医学中央雑誌・収録雑誌略名表に準拠した略名も可), 号もしくは巻 (号), 頁-頁。

[単行書の場合]

①著者名 (発行年次): 書名 (版数 初版は省略可), 出版社名, 発行地。

②著者名 (発行年次): 論文の表題, 編者名, 書名 (版数 初版は省略可), 頁-頁, 出版社名, 発行地。 (欧文は編集者や監修者名の前にIn, 後に (Ed) または (Eds) を記載)

[翻訳書の場合]

原著者名 (原著の発行年次): 原著名, 出版社, 発行地。 / 訳者名 (翻訳書の発行年次): 翻訳書名 (版数), 出版社名, 発行地。

8. 著作権

原稿内容についての第一儀的な責任と権利は執筆者に帰属するが, 原稿の編集, 出版および電子情報化など二次的使用に関する権利は紀要委員会が執筆者から委託されたものとする。

9. 著者負担

論文の別刷りは, 1論文あたり30部までは無料とし, それ以上の希望については著者負担とする。

(附則)

この投稿要領は, 平成23年4月26日から施行する。

看護学部紀要委員会

委員長 堀井 理司

副委員長 田嶋 長子

委員 林田 裕美 岡本 双美子 伊藤 良子

大阪府立大学看護学部紀要

第21巻 第1号

2015年3月23日 発行

編集 看護学部紀要委員会

発行 大阪府立大学看護学部

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号

TEL (072) 950-2111 (代)

FAX (072) 950-2131

印刷 株式会社 春日

〒542-0064 大阪市中央区上汐2-2-22

TEL (06) 6767-0899

JOURNAL OF SCHOOL OF NURSING OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

Vol. 21, No.1

2015

Originals

- Clinical Mentors' Learning Needs and Preferred Learning Methods in Relation to the Design of Learning Environments 1
Y. DOI, Y. HOSODA, M. NAKAHASHI, A. NAKAOKA, K. IKEUCHI
- Effects of Critical Thinking on Clinical Competence in Nursing Students 13
A. SUZUKI, Y. HOSODA, Y. KATAYAMA

Reports

- Medical Information and Nursing Intervention in the information provision for Patients undergoing Coronary Artery Bypass Graft (CABG):
A Study of perception of Cardiovascular Nurses with different years of experience. 21
N. INOUE, C. MATSUMOTO, Y. ISHIDA, E. TAKAMIZAWA, T. TAMAI, Y. MICHIHATA,
E. TAKESHITA, M. ŌMYO, Y. SUGINO, M. INAGAKI, M. ISHIZAWA
- The Effects Of Foot Baths With A Nano Mist On Mood And Salivary Amylase Activity
In Healthy Adult Women:Comparison With Warm-Water Foot Baths 31
M. YAMAGUCHI, Y. SUGIMOTO, A. NAKAOKA, N. KANATA, M. HAYASHI, E. MASUYAMA,
Y. IWASAKI, C. SUMIDA

Materials

- Participation in Hospital Management by Financially Educated Nurse Administrators 41
Y. MIZOGUCHI, H. AOYAMA
- Parenting support of community volunteers in the teenage mothers group;
Focus on revising volunteer's perception of teenage mothers 49
S. OKAWA
- Care Model for Abused Children in the Pediatric Ward Using Milieutherapeutic Approach 57
— Applying a Delphi Survey —
H. NARAGINO, Y. OKAZAKI, T. UCHIDA, N. KOBARI, M. HABATA
- A Study On Decision Making OF The Disease Disclosure Or Nondisclosure In Women With
Diabetes: The Relation Between Diabetes Disclosure And Internal Personal Factors 65
F. MINAMIMURA
- Collaboration Activities by University and Community
— Evaluation of Collaboration Class with University and Elementary School — 75
S. NEGORO, M. UENO, M. KITAGAWA, S. OKAWA, K. IZUMI

Published by

SCHOOL OF NURSING, OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY
3-7-30 HABIKINO
HABIKINOSHI, OSAKA, JAPAN